

婦人会報

立教183年

9月

令和2年
2020年



天理教婦人会旭日支部 通巻495号

十月例会案内

日時 十月五日(月) 午前十時
場所 旭日大教会
内容 教祖祭
よろづよ八首

お話し「かしもの・かりもの」

標本委員部 松田和代

お弁当配布

女子青年例会案内

日時 九月二十七日(日)

午後八時

内容 オンライン例会

(詳細は別頁を参照して下さい)



十月例会役割

属者	辻 左知子	坂本 みさ子
賛者	岡本 愛	松田 よし子
指図方	岩崎 初代	

※十月の鳴物当番はありません。

十月月次祭当番

※十月の炊事当番・託児当番はありません。

掲載記事募集!

婦人会報では、掲載記事を募集しています。みんなに教えたいこと、自分が出会った不思議なご守護、おすすめ簡単レシピなど、多岐にわたりお待ちしています。会報系の奥村・吉田か、直属教会または所属教会までお知らせ下さい。





11月29日『若人の祈り』

●主旨

現在、新型コロナウイルスによる感染拡大の恐れがあるために、従来通りの開催が厳しい状況にあります。この中でも、旭日に繋がる若人が、信仰の喜びを確認すると同時に、心を一つに揃え、世界中の感染拡大が一日も早く収束するよう祈る日にしたいと考えております。

●内容

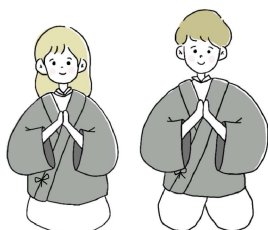
当日、動画投稿サイトの「YouTube」において、ライブ配信を行い、大教会長様、奥様を芯にお願いづとめをさせていただきます。

おつとめ後に大教会長様、各会の代表者にお話を頂き、こちらも配信させていただきます。

●それまでの動き

青年会、女子青年、茜の会、さくら会、学生会に繋がる会員さんにお声がけさせていただきます、それぞれが今できる「理づくり」をさせていただきます。8/29～11/29までの3ヶ月間、『自分にできるひのきしん・おたすけ・にをいがけ』などの実働をさせていただきます、現状でも前向きになれるような活動に取り組ませて頂きます。

また、会員同士が励まし合い、刺激し合えるよう「LINE」を通して『若人通信』を配信させていただきます。「今日はこんなことをした」「今、こんな活動をしています」など、それぞれの活動を動画や写真で紹介し合い、活動の促進を図らせて頂きます。（LINEの管理は青年会です）



喜び探し新聞

中森昌昭

名張分教会長

私どもの教会では、以前「喜び探し新聞」という小さな新聞を発行していました。とにかく3年間やってみようと期間限定で始めたもので、その期間を過ぎた今は休眠中となっております。けれども、

「いろいろと参考になることがあった」「いい新聞だったので、ぜひ復刊してもらいたい」といった声もあるのです、また新たな形で始めたいと考えています。

この新聞は、日ごろの暮らしのなかで見つけた「喜び」を皆さんから報告してもらい、それを編集して紹介するというもので、月に一度の発行でした。読んだ人同士がさまざまな喜びを共有することで、「そういう喜び方もあるんだな」というように、新たな発見をしたり、前向きな考え方に気づ

いたり、楽しみに待ってくれる人も多かったようです。

発刊して1年ほど経過したころ、ある家庭のご主人が、「この新聞をきっかけに、就寝前に家族全員が集まり、その日の喜びを報告し合うことが日課になった」と話してくれました。その方の家庭では、娘さんが就職して息子さんも部活動などで忙しく、家族が顔合わせることが少なくなっていたそう、就寝前のわずかな会話が、家族にとっての貴重な時間になったと喜びを語ってくれました。

また、ある教会では夕づとめ後に、参拝した人が集まってその日の喜びを発表し合うようになったのですが、それを続けるうちに小学生の子供たちも、生活のなかで喜びを見つけようとする意識が高まったと聞きました。

▽3種類の「喜び」

こうして、毎月いろいろな人から

「喜びの声」が届くなかで、それが大きく三つの種類に分かれることに気づきました。

まず一つ目は、「孫が大学受験に合格した」「息子の結婚が決まった」「妻が無事に退院した」など、誰もが喜べる報告です。これには当人だけでなく、報告を受けるほうも素直に嬉しくなります。

二つ目は、ごく当たり前のことを喜びとしている報告です。「朝、目が覚めて目が見える、耳が聞こえる、手足が自由に動かせる」といった、健康な人であればごく当たり前のことを、心からありがたく感じていると言う声です。私たちは、神様から大いなる恵みを頂いて暮らしていますが、その受けとり方はさまざまです。日々「ありがた

いなあ、結構やなあ」と感謝しながら過ごしている人もあれば、「そうしたことは、あまり意識していない」という人も少なくありません。

病気を患い、不自由を感じながら過ごした日々がある人にとつては、体を当たり前のように使えることが何よりの喜びでしょうが、そうした経験のない人にとつては、何も特別なことではないのかもしれません。

しかし私は、こうした喜びの声を聞くことによって、病気やけがの経験のない人でも、当たり前のことを喜べる感性が磨かれていくように思います。

そして三つ目は、第三者から見て「大変だろうな、つらいだろうな」と思えることのなかから、喜びを見いだしている報告です。たとえば「交通事故を起こして、車の修理にかなり費用は掛かったけれど、命が助かってよかった」「転んで足を骨折したが、ほかの所は

無傷でよかった」など、大難を小難にしていたいただいた喜びや、「身動きができずつらい状態になったとき、親身になって介護してくれる存在が本当にありがたかった」「けがをして遊べなかったときに、友だちが、ほかの子と遊びたいのを我慢して、私のそばにいてくれたことがうれしかった」というような、人の心の温かさに触れた喜びの声も数多く届きました。

▽神様からのメッセージ

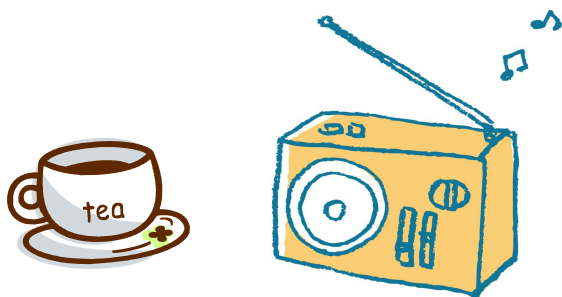
このように、さまざま喜びの声にふれていると、自分の周りに起きていることの中には、「喜びの種」が必ずあることを感じます。たとえつらいことや悲しいことがあっても、その中には、陽気ぐらしへ導いてやりたいという親なる神様からのメッセージが込められている。どんな出来事も、神様が、その人のプラスになるようにとの親心からお与えくださっていると思えるのです。

ふだんの暮らしのなかで、私たちが

お見守りくださり、より良い姿へとお連れ通りくださる神様。その大いなるお働きに感謝し、温かい親心を感じながら喜びを求めて歩むなかに、おのずと心の向きが変わって、「喜びづくめ」の暮らしへと進んでいくことができるのではないのでしょうか。

(ラジオ『天理教の時間』

令和元年9月21・22日放送より)

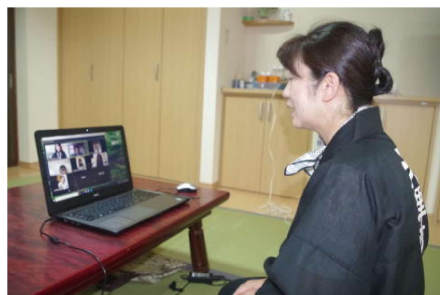


ラジオ『天理教の時間』は、天理教ホームページ「外出を控える今だからこそ『暮らしの場』で教えに親しもう」の項目を押せば視聴できます。

女子青年オンライン例会開催報告

8月16日（日）、30日（日）の両日、オンラインにて女子青年例会を開催しました。

16日は、大教会神殿での支部長様のおつとめに合わせ、画面の前から参拝させて頂き、続いて支部長様からお話を頂きました。そして、各自の近況を報告し合いました。



30日は、11月29日に開催されるの『若人の祈り』までの3ヶ月間、旭日女子青年として、どのように活動させて頂いたらいいのかを考えさせて頂き、一月ずつテーマを決めて、自分にできる事に取り組んでいこうということになりました。

【旭日女子青年9月のテーマ】

毎日喜びを見つけよう！

一見何でもないように思える一日でも、その日をふりかえって、何か喜ぶことが見つければ幸せですね。
できればノートやスマホに書き出していけるといいですね。

- 9月27日（日）20時～
女子青年LINEグループビデオ通話でみんなのハッピーを共有したいと思います。どうぞご参加下さい。



- ※ 女子青年LINEグループへの参加は
委員長 松田治佳（旭園）
副委員長 関 一紗（高天）
婦人会女子青年担当委員
村井明子（朝和）・関 薫（高天）・岡本 愛（直轄）
までお問い合わせ下さい。

感謝状が届きました!

新型コロナウイルス感染拡大防止による月次祭縮小の為、お休みにしておりましたフードバンクの回収を7月より再開させて頂きました。今のところ、係の常駐は出来ませんが引き続きご協力をよろしくお願いいたします。8月中旬にはフードバンク奈良さまより感謝状が届きました。

今後も微力ながら「もったいないをありがとうに」、賛同し支援につなぐ応援をさせていただきます。



フードバンク奈良

- ◆次回開催◆ 9月24日(木) 大教会祭典終了後より1時間
 - ◆回収場所◆ 旭日大教会1号館ロビー
- ※賞味期限が一ヶ月以上ある食品をお願いいたします。



感謝状

天理教

旭日大教会様

貴団体は本会のフードバンク活動に対し日頃より温かいご理解を示され多大なご貢献をされましたよってここにそのご厚意に対し深甚なる感謝の意を表します

令和二年八月十日

特定非営利活動法人フードバンク奈良

代表理事 渡辺 一城



Coming Soon

女子青年の動画配信! 9月下旬予定です。



見てね!



☎婦人会本部ホームページからアクセスして下さい

発行日 令和二年九月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八

天理教婦人会旭日支部